

## 2020年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	文屋 典子	職名	講師	学位	修士(社会学)(関西学院大学 1994年)
----	-------	----	----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学	ソーシャルワーク方法論、子ども家庭支援 ファミリーソーシャルワーク

研究課題
子ども家庭支援における社会構成主義的アプローチの可能性

担当授業科目
相談援助の理論と方法Ⅱ(通年) 相談援助実習指導Ⅰ(通年) 相談援助実習指導Ⅱ(通年) 相談援助実習(通年) 相談援助演習Ⅱ(前期) 保育実習指導Ⅲ(通年) 保育実習Ⅲ(通年) 家庭支援論(前期) 保育者論(後期) 専門研究Ⅰ(通年) 専門研究Ⅱ(通年)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 相談援助の理論と方法Ⅱ 】</p> <p>一般システム理論がソーシャルワーク理論の中にどのように組み込まれ、現在のソーシャルワーク実践に結びついているかを理解すること、ミクロ・メゾ・マクロの多角的視点と相互作用的視点を理解し、問題状況を捉える“視点を涵養することに重点をおいた。ソーシャルワークのアプローチについてはその起源となる社会的背景や基盤理論をふまえてそれぞれの特徴を理解できること、具体的な事例を用いることにより、アセスメントや介入における各アプローチ固有の“視点”を理解することに重点を置いた。</p> <p>オンラインでの授業が中心となったため、毎回の授業で提出される学生のコメントに必要な応じて返答すること、他の学生のコメントを紹介して共有することを丁寧に行うよう心がけた。</p>
<p>授業科目名【 相談援助演習Ⅱ 】</p> <p>通常は、グループディスカッションやロールプレイを行うことを中心に進める授業であるが、今年度はオンラインでの授業となり、授業開始当初は学生の通信環境に大きな差異があり、数名の学生においては学生側が発言しようとする通信が途絶えるなどの現象が生じていたため、すべての学生が参加、発言できる授業であるために、コメント送信機能による双方向授業の形で授業を行った。学生の授業感想としては「初めてコメントを送信するときは緊張したが、慣れてくると Meet でカメラやマイクをオンにするより抵抗がなく、積極的に意見を表明することができた」「みんなのさまざまな意見を聞くことができ、改めて自分自身のもの見方をじっくり振り返ることができた」などの意見が多く見られた。このような形態で授業を進めることができたのは、一人ひとりの学生の積極的な参加と文字入力スキルの高さによって支えられたものであると考えられる。</p>

<p>授業科目名【 相談援助実習指導Ⅱ 】</p> <p>実習前の事前学習では個別指導を複数回行い、各自の関心事と実習に臨む姿勢・準備性をふまえたうえで、実習課題を明確化するよう心掛けた。前期実習終了後には、自己の実習課題に対する達成度と後期の実習までに自身が取り組むべき課題について各自が振り返りを深めるワークに取り組み、さらに成長して後期実習に臨むことをめざした。Covid-19の感染拡大状況により実習中止や延期が繰り返されたため、学生のモチベーションを支えることが重要な課題だったが、このような状況だからこそ、一人ひとりの学生の実習に真摯に向き合う姿勢が見られたと考える。約半数の学生が後期実習を終えられていないが、十分な準備を行って実習開始を迎えられるよう、引き続き取り組んでいく。</p>
<p>授業科目名【 相談援助実習指導Ⅰ 】</p> <p>子どもの発達や特性、障害の理解、実習施設の役割と機能、援助の実際について、資料や視聴覚教材による学習とグループ学習を中心に学びを深めた。Covid-19感染拡大により今年度は見学実習を実施することができなかったが、3年生の実習報告から実習へのイメージを深め、事前に学ぶべき課題を明確にすることができた。</p>
<p>授業科目名【 家庭支援論 】</p> <p>現代の家族をとりまく状況を概観し、個人と深いかかわりをもつ家族に目を向けて支援することの意義、家族の様々なかたち、家族をめぐる価値観の多様性にも触れつつ、家族を理解するための概念と家族をシステムとして捉える理論をふまえ、家庭支援に求められる援助者の視点や姿勢を涵養することに努めた。</p>
<p>授業科目名【 保育実習指導Ⅲ 】</p> <p>これまでの保育実習、相談援助実習で学んできたことと自身の課題を踏まえつつ、実習目標を各自が設定し実習計画書を作成すること、事前学習として実習先での支援の実際、障害特性、利用者や児童福祉施設の現状について理解を深めて実習に臨むよう、個別指導に重点を置いた。実習期間中の巡回指導や実習後の振り返りにおいて各学生の学びや課題を整理し実習報告会を実施、実習のまとめを行った。</p>
<p>授業科目名【 保育者論 】</p> <p>視聴覚教材を用いて保育者の職務内容と実際の子どもの姿を具体的にイメージし、保育者の役割と倫理、保育士に求められる資質・能力・専門性について理解を深めた。福祉学科においてソーシャルワーク・心理学・保育の知識・技術を修得することと、子どもと家庭の支援に携わるうえで求められる専門職としての姿勢や知識・技術とが結びつき、これからの大学での学びに対する学生の意欲につながるよう努めた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉学会		1992年10月～ 現在に至る
日本キリスト教社会福祉学会		2001年3月～ "
日本ブリーフサイコセラピー学会		1991年11月～ "
日本家族研究・家族療法学会		1998年11月～ "
日本小児保健学会		1997年5月～ "
日本特殊教育学会		1999年8月～ "
日本保育学会		2011年10月～ "
日本医療保育学会		2016年5月～ "

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
重篤な疾患を抱える子どものきょうだいに対するパフォーマンスアーツを活用した支援の検討	西南女学院大学	○笹月 桃子 野井 未加 山本 佳代子 樋口 由貴子	1,671,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
社会福祉法人喜久茂会 北九州市 指定管理者の評価に関する検討会議	評議員 臨時構成員	2017年4月1日～2021年6月 2020年7月
社会福祉法人あゆみの森たけのこ会	評議員	2021年3月～

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
学生委員 キャンパスハラスメント相談員 吹奏楽部顧問